

# 抱擁壁

コンクリートに覆われた圧迫感のある壁——  
日本の急速な発展の時代の早急な対処には  
一定の役割を果たしたのだろう  
しかし、現代社会が求めるのはただ安全を守るだけの  
擁壁ではないだろう。

その擁壁に+αの使用法として、地元住民の憩いの場を  
形成する。  
地元の木材を用いて、地元の人を護り、  
抱擁するかのように住民たちの憩いも護る。  
木材でなくCLTを用いれば、無理な話ではない

それは、時に子供たちの遊び場となり、  
時にお母さんたちの井戸端会議の場となり、  
出勤前のサラリーマンも休んでいくかもしれない…

そんな、日常の一部を織りなすCLTは  
社会を包みこむように溶け込んでいく

